

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 11 月 10 日 (2011.11.10)

【公開番号】特開 2010-85866 (P2010-85866A)
 【公開日】平成 22 年 4 月 15 日 (2010.4.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-015
 【出願番号】特願 2008-256795 (P2008-256795)
 【国際特許分類】

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/26 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/30 3 3 0 Z

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 9 月 26 日 (2011.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マトリックス状に配列され、上部電極と下部電極との間に発光層を有する複数の発光素子と、

各前記発光素子を駆動するための駆動手段と、

前記上部電極と接続され、前記下部電極と同一層に設けられるとともに一部の前記発光素子のみに隣接して配置された上部電極接続配線と、

前記上部電極の電気抵抗を調整するために前記上部電極接続配線と接続され、前記下部電極よりも下層に配線された抵抗調整配線と

を備えた

表示装置。

【請求項 2】

前記発光素子は、光の三原色中の赤を発光する R 画素と、緑を発光する G 画素と、青を発光する B 画素とを有し、

前記上部電極接続配線は、前記 R 画素に隣接して配置されており、

前記 G 画素及び前記 B 画素の各開口率は、前記 R 画素の開口率よりも大きく形成されている

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記発光素子は、有機物層を配置した有機エレクトロルミネッセンス素子である

請求項 1 または請求項 2 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記駆動手段と接続され、前記抵抗調整配線と同一層に設けられるとともに前記抵抗調

整配線と平行する方向に配線された電源線と、

前記駆動手段と接続され、前記抵抗調整配線と同一層に設けられるとともに前記抵抗調整配線及び前記電源線と平行する方向に配線された第 1 配線と、

前記駆動手段と接続され、前記抵抗調整配線と同一層に設けられるとともに前記抵抗調整配線、前記電源線、及び前記第 1 配線と交差する方向に配線された第 2 配線と

を備えた

請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記第 1 配線は、マトリックス状に配列された各前記発光素子の各行ごとに配線された走査線であり、

前記第 2 配線は、マトリックス状に配列された各前記発光素子の各列ごとに配線された信号線である

請求項 4 に記載の表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明は、以下の解決手段によって、上述の課題を解決する。

本発明の表示装置は、マトリックス状に配列され、上部電極と下部電極との間に発光層を有する複数の発光素子と、各発光素子を駆動するための駆動手段と、上部電極と接続され、下部電極と同一層に設けられるとともに一部の発光素子のみに隣接して配置された上部電極接続配線と、上部電極の電気抵抗を調整するために上部電極接続配線と接続され、下部電極よりも下層に配線された抵抗調整配線とを備えたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明の表示装置では、発光素子の上部電極と接続され、下部電極と同一層に設けられた上部電極接続配線と、上部電極の電気抵抗を調整するために上部電極接続配線と接続され、下部電極よりも下層に配線された抵抗調整配線とを有している。そして、上部電極接続配線は、一部の発光素子のみに隣接して配置されている。そのため、上部電極接続配線が隣接して配置されていない発光素子では、上部電極接続配線の配置スペースを設ける必要がなくなるので、画素の開口率を大きくできる。また、上部電極の電気抵抗は、抵抗調整配線によって調整できる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明の表示装置によれば、上部電極接続配線が隣接して配置されていない発光素子によって構成される画素を高開口率化できる。そのため、アクティブマトリックス型表示装置の高精細化を図ることができる。